

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成25年11月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士の専門性について

須貝 和則

国立国際医療研究センター 財務経理課 医事専門職
診療情報管理士教育委員会 委員
東京会場 専門課程(診療情報管理論Ⅱ) 講師

診療情報管理士の専門性について考えてみたいと思います。

日本病院会の診療情報管理士の役割によると「診療情報管理士は診療録を高い精度で機能させ、そこに含まれるデータや情報を加工、分析、編集し活用することにより医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門職種」とあります。この一文にある「診療録」とは、医師が記載する診療録だけを指しているのではなく、診療にかかわる全ての医療専門職の記録を対象にしていることは、皆さんも認識している通りです。ところが、実際の診療情報管理業務の中で診療記録を適切に管理し、高い精度で情報化していくことは容易なことではありません。

私は2010年より厚生労働省のチーム医療の具体的方策を検討する会「チーム医療推進方策ワーキング」に診療情報管理士の立場で参加していますが、専門職が一同に集まり、新しいチーム医療の方策を検討するという事は、言い換えれば各職種の専門性を認め合い、具体的なフレームワークを議論するようなことです。診療情報管理士もチーム医療の一員として何ができるのか、診療情報を管理することは医療の基本である当たり前に考えていたことも、具体化することの難しさを痛感しました。

2011年6月当会は、これまでの成果物として「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践事例集」をまとめました。この中では、診療情報管理の重要性について、チームが情報共有するために、定型化した書式による情報の管理や電子カルテを活用した情報の一元化などの有用性が強調されています。チーム医療の目的は、多職種間協同による医療の質の向上と効率的な医療サービスの提供にあるといえます。私は、診療情報管理士も積極的にチーム医療に参加し、医療専門職の一員として診療情報の管理に努めるべきではないかと思うのです。高い精度で情報を共有させるためにチーム医療に貢献する、まさに医療の質や医療安全に関与する診療情報管理士の専門性に繋がるのではないかと考えています。

受講生のみなさんも今学んでいることが将来の診療情報管理士としての専門性の土台となる部分です。しっかりと認識して、努力してほしいと思います。

